

研究課題名「乳頭型胆管癌と Intraductal papillary neoplasm of bile duct (IPNB)の臨床病理学的検討」に関する情報公開

1. 研究の対象

2006年1月1日から2018年5月31日までに当院消化器外科1にて切除された胆管癌を対象とした。

2. 研究目的・方法・研究期間

古くから乳頭型胆管癌（PCC）は予後が良好なことが知られている。近年、WHO分類においてIPNBが提唱され、膵IPMNのカウンターパートとされた。しかし、IPNBはPCCと重複し、その定義があいまいであるため、日常臨床において混乱をもたらしている。我々の解析では、PCCは浸潤癌成分の増加に伴って、連続的に進行する疾患群であることが確認できた。また、胆管腫瘍には前癌病変は認められなかった。従って、IPNBは“あえて”定義するのであればPCCの発育スペクトルの早期病変に相当すると考えられ、独立した疾患として扱うべきではないと考えている。

そのような状況にもかかわらず、IPNBは「日韓共同研究による新分類」により、Type 1とType 2に細分類され、疾患概念がより混沌となってしまった。

当院は、胆管癌治療経験が豊富であるため、本疾患の研究を行う社会的責務を負う。当院におけるIPNBおよびPCC症例をその新分類に基づいて分類し、臨床病理学的特徴を後方視的に検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、手術内容、術後経過、検体結果、病理組織学的検査所見、等。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院 腫瘍外科学 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

研究担当者氏名：名古屋大学大学院 腫瘍外科学 尾上 俊介

(電話 052-744-2222、ファックス 052-744-2230)

研究責任者：名古屋大学大学院 腫瘍外科学消化器外科 1 榑野 正人

(電話 052-744-2222、ファックス 052-744-2230)